

Step by Step

令和元年7月25日発行

STEP
14



《特集》

その人らしい生活や生き方を育むためのリハビリテーション！

- わたしたちの思い～理学療法士～／まんさく会のご紹介
- 病院からのお知らせ

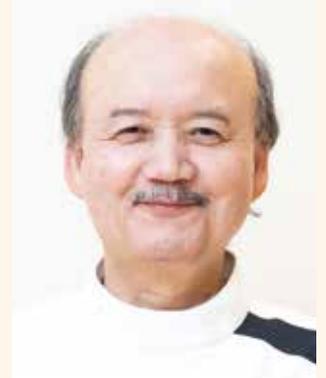
ヒト



かげちか けんじ
影近 謙治 医師

プロフィール

金沢大学医学部卒。富山県高志リハビリテーション病院、市立砺波総合病院、金沢医科大学病院勤務を経て、2019年4月より富山県リハビリテーション病院・こども支援センター院長就任。日本リハビリテーション医学会認定リハビリテーション科指導医・専門医・臨床認定医。



●患者さんは、自分の家族！～可能性を最大限に引き出して、^{みちすじ}道筋をつけてあげたい～

Q. リハビリテーション科医師を志したきっかけは何ですか？

A. 母が金沢大学工学部の近くで下宿屋をしていて、僕は工学部の学生さん達と遊んでもらいながら育ったから機械に興味をもつようになり、工学部へ進学しました。将来はエンジニアになろうと学んでいたのですが、卒業直前に手のない人のために筋電義手をテーマに取り組んだ時、手のない人に義手や、歩けない人に義足などをつくるリハビリテーションという世界を初めて知り、魅力を感じました。

そのことがきっかけで、卒業後にリハビリに携わる医師になろうと思いき医学部に入り直しました。

Q. 院長が目指している富山県リハビリテーション病院・こども支援センターとは？

A. 当院は、障害があり今後に不安な思いをしている人の道筋をつけてあげられる病院でありたいと思っています。リハビリテーション科の医師は、杖を使用してトイレに行けるようになって退院するなど、患者さんごとにリハビリのゴールとなる目標を設定します。本人や家族が安心して自宅に帰れるようにするためには、病気だけでなく、患者さんを取りまく背景を知り、地域のサービスや制度などの幅広い知識も必要となります。手を動かすためのリハビリをするだけでなく、手を動かして何をするのか、社会生活ができるようにという視点で考えることが重要です。このように病気を診るのではなく、患者さんの生活を診る意識を高くもって対応したいと思っています。

また、療養介護棟や生活・就労施設なども併設されており、予後にも対応しています。1つの病院の中で、こどもからおとなまで継ぎ目なくライフステージにそった支援を行っています。

これからさまざまな問題がでてきた時に、当院に行こうと頼られる病院を目指し、当院で解決できない場合であっても、適したところに繋げてもらえるという安心感を与えられるようにしたいと思います。それから、院内でコンサートなどのイベントを行い、今日はピアノの演奏を聴きにいってみようかと気軽な気持ちで当院に来てもらえるような社会文化資源の1つにもなれるように取り組んでいきたいと思っています。

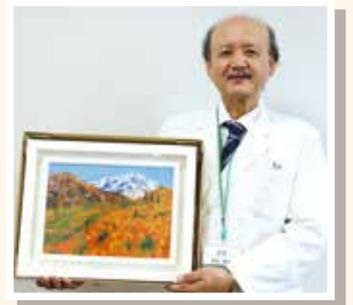
Q. 大切にしていること、心がけていることは何ですか？

A. 患者さんが自分の親や子どもだったら、と自分の家族におきかえて、当事者意識をもって診ることを心がけています。また、いろんな患者さんを診てきて、学校に行けない、会社に戻れないなどの退院後の悩みを聞くうちに、社会との関わりの大切さを感じるようになりました。以前に、車いすになったお子さんがいて、最初は暴れてリハビリにならなかった。でも車いすバスケットを紹介し、一緒にコートまで行った後、少しずつ参加されるようになって、その後パラリンピックの選手になられました。

患者さんの意志や可能性を最大限に引き出してあげることがリハビリテーション科の医師だと思っています。本人、家族が安心して暮らせるように、周りがフォローできる環境や情報を提供し、助け合っていく必要があると思っています。

*

患者さんを責任もって治療するためには、診察室で診るだけでなく訓練室でリハビリに取り組む患者さんを自分で見に行くようにしている影近先生。患者さんが少しでも今日はこれができた、セラピストと一緒に実感できることが何より嬉しいそうです。



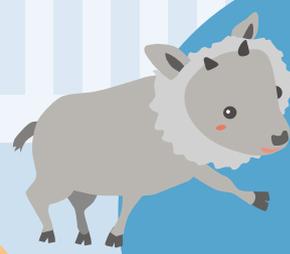
患者さんが描いた絵をプレゼントされた影近院長。

院長室に飾ってあります☆

**影近先生の外来
火曜・金曜（午前）**

※受診をご希望の方は、外来に電話等でご相談ください。

療法士と共に患者さんをサポートする強い味方！



モ
ノ

ロボット リハビリテーション！！

当院では、ロボットを活用した先端的なリハビリテーションを行っています。ロボットリハビリテーションは、人の手では段階調節が難しいような細かい動作システムをあらかじめ設定したり、患者さんの状態に合わせて訓練の負荷を調整したりすることで、さまざまなニーズに応えることが可能です。今回は3つのロボットリハビリテーションをご紹介します☆

●ReoGo®-J（レオゴージェイ）

- ・県内で初めて当院が導入した上肢用訓練のロボットです。
- ・主に脳卒中の後遺症で片麻痺のある方などに、肩や肘のリーチ動作（ものを掴むために手を伸ばすこと）の訓練を行います。
- ・患者さんの重症度に合わせて、全介助モード、自動介助、フリーモードなど、5つのモードで難易度を調整することができます。また、単純な前方へのリーチ動作だけでなく、側方や円運動など多彩な動作プログラムも設定できます。訓練結果が保存されるため、グラフや表で継時的に確認することも可能です。
- ・患者さんに合わせて段階を付けて繰り返し動作ができるメリットを活かし、上肢麻痺の機能回復を促します。



●Welwalk（ウェルウォーク）

- ・トヨタ自動車と藤田医科大学が共同開発した歩行訓練のロボットです。
- ・主に脳卒中の後遺症で片麻痺のある方などに、運動学習理論に基づいて、効率的な歩行訓練を行います。
- ・下肢に装着するロボットの働きを利用して、トレッドミル（走行ベルト）のうえを歩行します。安全ベルトを装着することで、転倒の危険なく安心して訓練を行えます。
- ・患者さんの回復に応じてアシスト量を調整することができ、常に適切な難易度での練習ができます。また、モニター画像や音声などの多彩なフィードバック機能の活用により、歩行状態をリアルタイムで確認しながら歩行の修正を図ることができ、患者様自身がより良い歩行を意識しながら歩くことができます。



●レール走行式免荷リフト（安全懸架装置）

- ・リハビリ室の天井に約30mのレールがあり、専用の免荷ハーネス（安全ベルト）を装着して歩行訓練を行う装置です。リハビリテーション用リフトとして、3種類備わっています。
- ・一番の利点は、転倒なく立位・歩行練習ができるという点です。安全な転倒リスクの体感で、自然な歩行練習が可能です。また、免荷機能で早期の歩行が可能です。骨折、術後などのままならない方から、走行などのダイナミックな動作を練習したい方まで幅広く応用できます。



ロボットリハビリの効果検証を行うとともに、先進的・効果的なリハビリの研究にも取り組んでいます。



コト



回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟は、急性期病院で脳血管障害や骨折などの手術のために治療を受けた後、病状が安定した患者さんに対して集中的なリハビリテーションを行い、在宅復帰および社会参加を目指すための病棟です。入院することができる患者さんの条件や入院期間が決まっており、一定の基準を満たした質の高いリハビリテーションを集中的に行います。当院では、365日休みなく、患者さん1人につき1日あたり平均145分のリハビリテーションを行い、約82%の患者さんがご自宅に退院されています。



医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、栄養士、薬剤師などスタッフが共同で患者さん、ご家族の希望をとりいれながらリハビリテーション計画を作成し、実施していきます。

回復期リハビリテーションをご紹介します！

理学療法

座る・立つ・歩くなど基本動作の回復を目的にさまざまな運動を行い、安全に日常生活が送れるようにリハビリを行います。杖や歩行器など、さまざまな歩行補助具を使用して歩行練習などに取り組みます。また、ベッドの起き上がりや、座り方の保持、手すりの高さについてなど、家での生活を想定したアドバイスも行っています。



作業療法

お風呂やトイレ、更衣動作など、日常生活の身体機能リハビリを行います。また、患者さんの以前の生活スタイルを踏まえて、社会参加につながるように、仕事、家事、趣味など、自分らしく精神的に豊かに過ごしてもらうためのリハビリも行います。



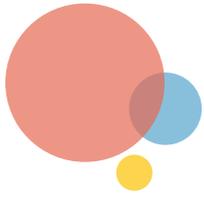
言語聴覚療法

話す、聞く、読む、書くことなどのコミュニケーションを上手に行うためのリハビリや、摂食・嚥下障害の方が安全に食事を食べられるように、食形態や食べ方などを検討し、肺炎予防などの検討にもチームで取り組んでいます。また、富山県失語症友の会の事務局として友の会活動支援もしています。



その他に、リハビリ時間以外も、集団立ち上がり練習などみんなで体力づくりや機能回復に取り組んでいます。また、夕食後にはナイトレクリエーションも行っています。カラオケやハンドマッサージ、映画鑑賞など日替わりで内容が違うので、患者さんの楽しみの1つや生活のリズムを整える効果もです。





わたしたちの思い ～理学療法士～

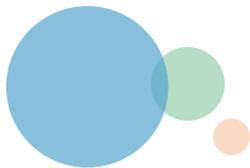


普段当たり前のようにできていたことが怪我や病気で急にできなくなった時、どうなるでしょうか。「歩けるようになりたい」「トイレができるようになりたい」「仕事ができるようになりたい」といった思いを持つ患者さんがたくさんおられます。そういった願いの実現をお手伝いするのが理学療法士の役割だと考えています。患者さんの中には順調に回復される方がいらっしゃれば、一生不自由を抱える方もたくさんおられます。以前自主トレーニングに励んでいる患者さんに「頑張っていますね」と声をかけた時、「良くなるために頑張っているんです」と返答され、患者さんが良くなるように努めなければならないと実感したことがあります。

自分自身、患者さんがうまく歩けるようになるにはどんな練習が良いか、また、装具はどのようなものが良いか、転倒の危険性がある方の介助の仕方を家族にどう説明すれば分かってもらえるのか、車いす生活になられた方の住宅改修をどのようにすれば良いかなど、日々悩みと闘っています。しかし、歩くことは難しいだろうと思っていた患者さんから「あなたのおかげで歩けるようになった」と笑顔で言葉をかけられた時はとてもうれしく、私自身も理学療法士として患者さんから元気をもらっているように感じ、やる気へとつながっています。

これからも患者さんの期待に応えられるよう、理学療法士として向上心を持って努力していきたいと思います。

飯田 康平



まんさく会のご紹介



こんにちは!!「まんさく会」事務局です。

皆さん、「まんさく会」をご存じでしょうか。「まんさく会」とは、当院に入院しておられた方や通院しておられる方、また主旨に賛同された方で構成している患者の会です。病気をしてから自分だけの世界に閉じこもることなく、日々の想いを分かち合い、絆を深める場として昭和60年に設立されました。会員さんの年齢は50歳代から90歳代と幅広く、脳梗塞の後遺症を持つ方や難病の方、車いすの方も多くいらっしゃいます。

6月27日には、病院スタッフを含めた総勢21名で、毎年恒例のバーベキューを行いました☆

「元気しとった??」という会員さんたちの楽しい会話、美味しいお肉や野菜、そして食後にはハーモニカサークルさんの素敵な演奏と、お腹も心も満たされる充実した時間を過ごすことができました。



このように車いすや麻痺があっても、バーベキューや一泊旅行を楽しむことができます。楽しいこと、辛いこと、悲しいことを共有し、笑い合い励まし合うことが会員の皆さんの活力となるように活動を行っています。是非皆さんも、早春に他の木々に先駆けて咲き、新しい季節の到来を教えてくれるまんさくの花のように、希望に満ちた将来を考えることができるよう、一緒に活動してみませんか?

● 病院からのお知らせ

*変更になる場合もありますので、詳細は、ホームページまたは、総合受付横の案内板でご確認ください。

8月

6日(火)	教室	糖尿病教室(病気の知識、食事の基本)
	サロン	ほのぼのぴあサロン(高次脳機能障害者)
13日(水)	教室	糖尿病教室(食事の管理、歯の衛生)
20日(火)	教室	糖尿病教室(糖尿病の検査、薬の知識)
21日(水)	サロン	保護者サロン(発達障害・乳幼児)
27日(火)	教室	リハビリテーション家族教室(脳卒中・健康生活編)
	教室	糖尿病教室(健康管理の実際、運動療法)
	講座	ほっぷ支援講座(ペアレントメンター)

9月

3日(火)	教室	糖尿病教室(病気の知識、食事の基本)
	サロン	ほのぼのぴあサロン(高次脳機能障害者)
10日(火)	講座	ほっぷ支援講座(県内教育の現状について)
	教室	糖尿病教室(食事の管理、歯の衛生)
17日(火)	教室	糖尿病教室(糖尿病の検査、薬の知識)
18日(水)	サロン	保護者サロン(発達障害・成人)
24日(火)	教室	糖尿病教室(健康管理の実際、運動療法)
	講座	ほっぷ支援講座(障害福祉サービス)
	教室	リハビリテーション家族教室(脳卒中・環境調整編)
25日(水)	教室	高次脳機能障害者家族教室(当事者の思い)
予定(水)	教室	リハビリテーション家族教室(脳卒中・在宅介護編)



8月にミニ七夕祭りや、ヒーリングコンサートなども予定しています。

● 外来診療案内 受付時間【午前】8:30~11:00【午後】13:00~15:00 診療時間 9:00~17:00

令和元年7月1日現在

診療科	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
リハビリテーション科	●		●		●		●		●	
内科	●		●		●		●		●	
脳神経内科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
整形外科	●		●		●		●		●	
脳神経外科	●		●		●		●		●	
泌尿器科					●	●	●	●	●	●
精神科			●							●
皮膚科					●					
眼科										休診中
耳鼻咽喉科			●						●	
歯科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
小児整形外科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
小児神経科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
子どもの心(児童精神科)			●		●	●	第2・3・4	●	●	●

※専門外来(糖尿病、甲状腺、嚥下、腎臓・高血圧、パーキンソン病、非侵襲的脳刺激治療、義肢・装具、高次脳機能など)については、ホームページの案内をご確認ください。

● 交通アクセス



● あいの風とやま鉄道線東富山駅下車、東富山駅より地铁バス
東富山駅より地铁バス→リハビリセンター行乗車、終点下車

● 北陸自動車道

金沢方面=富山西ICより国道8号線方面へ向かい、本郷西交差点右折、国道8号線新屋交差点左折
新潟方面=滑川ICより国道8号線方面へ向かい、稲泉交差点左折、国道8号線新屋交差点右折

● 富山駅南口バスターミナルより地铁バス(所要時間約30分) リハビリセンター行 乗車、終点下車

富山地方鉄道 路線バス時刻表

平成31年4月1日改正

平日(月~金曜日)ダイヤ

土曜・日曜・祝日(8月14日~16日)(12月30日~1月3日)ダイヤ

リハビリセンター行き (下赤江・豊若町・済生会病院経由)				中央病院行き (下赤江・富山駅前経由)				リハビリセンター行き (下赤江・豊若町・済生会病院経由)				中央病院行き (下赤江・富山駅前経由)			
富山駅前	県リハビリセンター南口 (ワークセンター前)	県リハビリセンター (新病院正面玄関前)	富山駅前	富山駅前	県リハビリセンター南口 (ワークセンター前)	県リハビリセンター (新病院正面玄関前)	富山駅前	富山駅前	県リハビリセンター南口 (ワークセンター前)	県リハビリセンター (新病院正面玄関前)	富山駅前	富山駅前	県リハビリセンター南口 (ワークセンター前)	県リハビリセンター (新病院正面玄関前)	富山駅前
8:00	8:28	9:06	9:40	8:10	8:38	9:31	10:00	9:15	9:46	10:06	10:40	9:30	9:58	10:16	10:45
10:55	11:26	11:36	12:05	11:30	12:01	12:06	12:40	12:25	12:56	13:06	13:35	12:30	13:01	13:06	13:40
13:55	14:26	14:36	15:05	14:30	15:01	15:06	15:40	15:55	16:26	16:56	17:25	16:20	16:51	17:06	17:40
17:25	17:56	18:19	18:50												



病院の情報をもっと知りたい方は、ホームページにアクセスしてね!



【お問合せ先】

◆ 富山県リハビリテーション病院・子ども支援センター

〒931-8517 富山県富山市下飯野36番地 ☎(076)438-2233(代)

ホームページ <http://www.toyama-reha.or.jp>